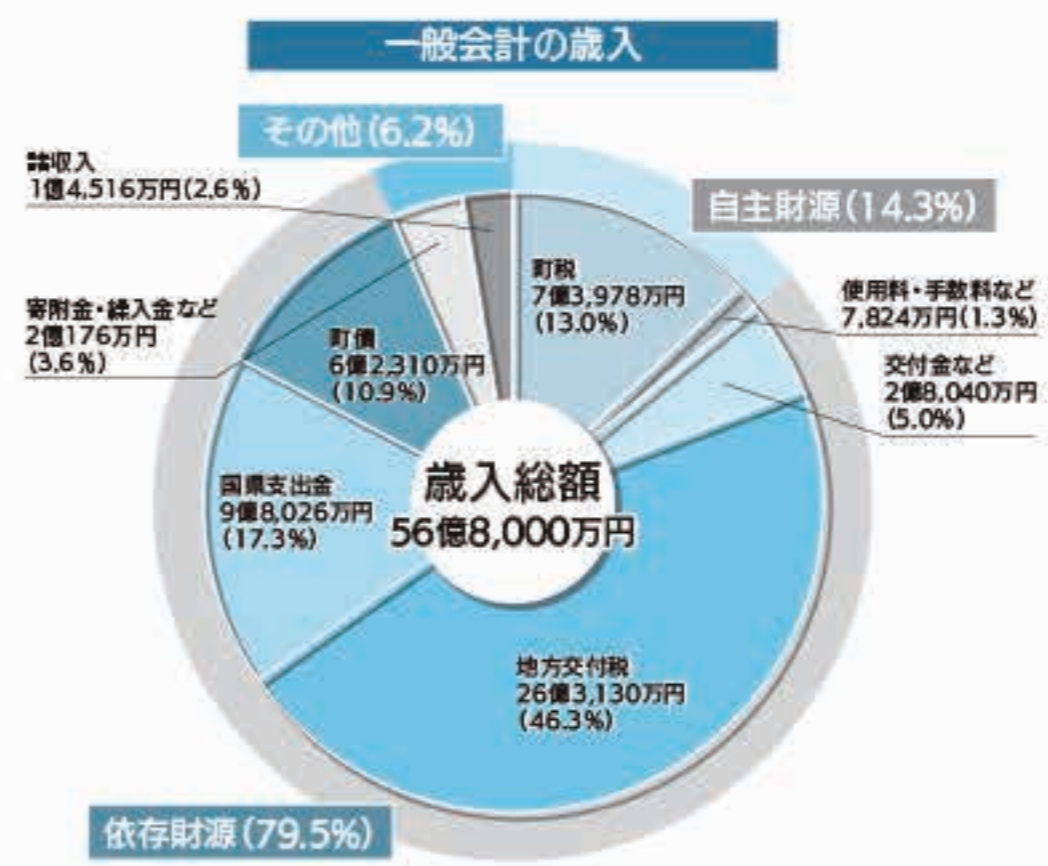


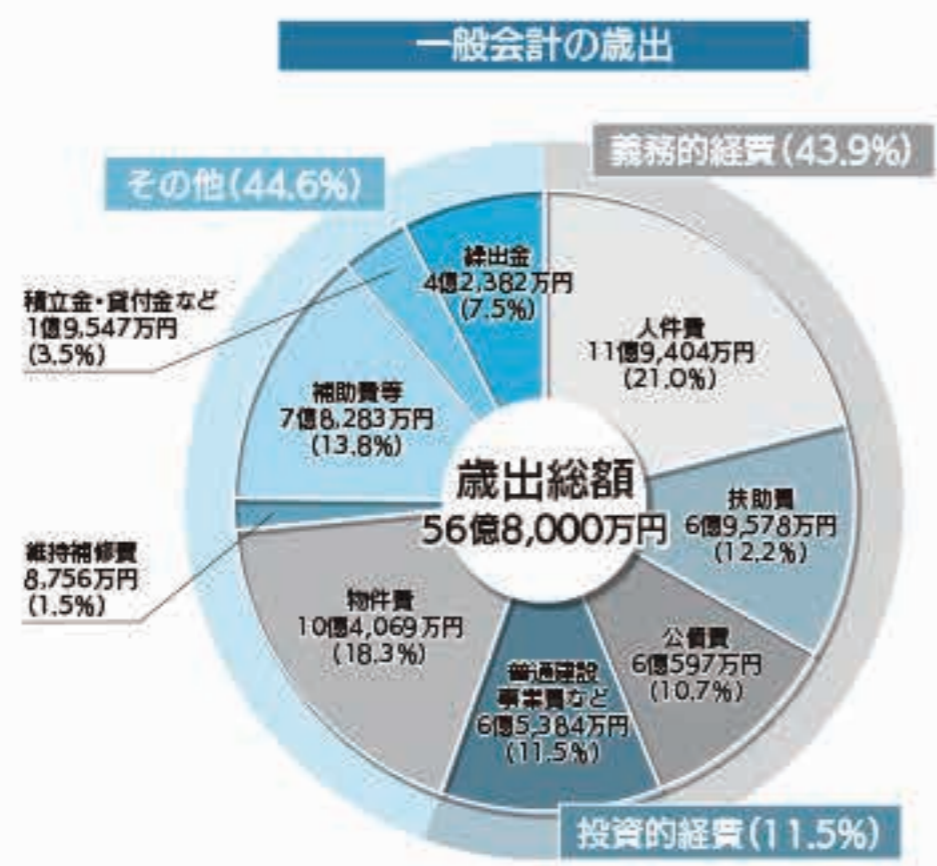
新型コロナウイルス感染症対策や
火葬場の整備などに
56億8,000万円

令和3年度各会計当初予算案が、町議会3月定例会で可決されました。
今月号では、各会計当初予算の概要と、本年度実施する主な事業についてお知らせします。



歳入財源の効率的な活用を図り地域の好循環を推進
令和3年度各会計予算は、前年度同様持続可能な行財政運営を目標に、新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応を考慮しつつ、限られた歳入財源の効率的な活用を図り、多様性を増す行政需要に対し効率的に配分しました。
また「総合発展計画後期基本計画」第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの中長期を展望したまちづくり計画を着実に推進し、「第6次行政改革推進プログラム」などの取り組みと合わせ、地域の好循環を支え、地域活性化を推進します。

一般会計総額は前年度比15・8割の減
令和3年度一般会計当初予算は、前年度に比べ10億6,500万円(15・8割)減の56億8,000万円とされています。
歳入では、町税が前年度とほぼ同額の7億3,978万円、繰入金では、公共施設等総合管理基金繰入金として1億3,000万円、町債では、火葬場整備事業特別会計は、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、障害認定事業特別会計で、総額は前年度に比べ2億7,064万円(7・4割)減の33億6,388万円とされています。
国民健康保険特別会計は、財政調整基金繰入金を2,439万円とし、運営主体の秋田県が算定した負担金を基に、前年度に比べ789万円(0・7割)増の12億1,155万円とされています。



下水道事業特別会計を企業会計へ移行
下水道事業は、令和3年度から地方公営企業法の全部を適用し、これまでの現金主義・単式帳簿の特別会計から発生主義・複式簿記の公営企業会計へと移行します。
介護保険特別会計は、第8期介護保険事業計画による給付の見込み量と保険料などを基に、保険事業勘定では前年度に比べ9,427万円(4・9割)増の20億6,633万円とされています。



令和4年度までの2か年事業として、老朽化が進む火葬場の大規模改修工事に着手します。

特別会計予算	
会計	当初予算額
国民健康保険	12億1,155万円 自営業の方や退職された方などの医療費を給付するために使います。
後期高齢者医療	1億3,845万円 75歳以上の方の医療費を給付するために使います。
介護保険	20億1,019万円 介護が必要な方を支えるために、介護サービス費の給付に使います。
保険事業勘定	20億663万円
介護サービス事業勘定	356万円
障害認定事業	368万円 障害の程度を審査し、認定するために使います。
水道事業会計	
安心して使える水を供給するために使います。	
区分	当初予算額
収益的支出	2億3,134万円
資本的支出	1億5,497万円
下水道事業会計	
環境を守る公共下水道の整備や汚水処理のために使います。	
区分	当初予算額
収益的支出	2億8,913万円
資本的支出	2億2,371万円

▶ 予算の主な使いみち

- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業** 6,452万円
的確かつ迅速に接種が行えるよう、集団接種会場の整備や医療従事者の確保などを進めます。
- 火葬場整備事業** 2億6,889万円
平成2年度の供用開始から30年以上が経過し、老朽化が進む火葬場の大規模改修工事に着手します。
- 火葬場駐車場等整備事業** 1,753万円
火葬場の駐車場などの整備を行います。
- 旧五城目小学校解体事業** 2億3,885万円
五城目小学校旧校舎の解体を行います。
- 地方道路整備事業 (交付金事業)** 7,045万円
五城目橋の補修に係る詳細設計や、町道雀館幹線・五城目外環状線・町山線の舗装改良工事、排水対策強化として磯ノ目地区の調査設計などを行います。
- 一般廃棄物埋立処分場改修事業** 3,184万円
一般廃棄物埋立処分場の、埋立地の遮水シートの張り替えや観測井戸の設置などの土木工事を実施します。
- 小型動力ポンプ積載車購入事業** 2,961万円
運用から20年が経過した消防団の小型動力ポンプ積載車5台を更新します。